

# 島

新美南吉

青空文庫



島で、或<sup>ある</sup>あさ、

鯨がとれた。

どこの家<sup>うち</sup>でも、

鯨を食べた。

鬚<sup>ひげ</sup>は、呻<sup>うな</sup>りに、

売られていった。

りらら、鯨<sup>あぶら</sup>油は、

ランプで燃えた。

鯨の話が、

どこでもされた。

島は、小さな、

まづしい村だ。

(註。<sup>ちゆう</sup>)

鯨の鬚は、

凧<sup>たこ</sup>の呻りに用ゐられます。

)





# 青空文庫情報

底本：「日本児童文学大系 第二八巻」ほるぷ出版

1978（昭和53）年11月30日初刷発行

底本の親本：「赤い鳥」赤い鳥社

1932（昭和7）年12月

初出：「赤い鳥」赤い鳥社

1932（昭和7）年12月

入力：菅野朋子

校正：noriko saito

2010年12月9日作成

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<http://www.waizora.gr.jp/>) で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。



# 島

新美南吉

2020年 7月13日 初版

## 奥付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail [info@aozora.gr.jp](mailto:info@aozora.gr.jp)

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>  
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。  
<http://tokimi.sylphid.jp/>